

うちの祖父は駆逐艦雪風に乗っていて
大和以下僚艦と沖繩を目指しました。
雪風は沈むことなく、生き長らえました。
しかしその後 祖父は広島で入市被爆をしました。
戦後、国内旅行をあちこち行った祖父でしたが
「沖繩には行けない」と話してました。
大人になって「行けない」の意味が
解った気がします。

父はボーイスカウトをやっていて
春の選抜高校野球で真和志高校の
プラカードを持って入場行進しました。
まだアメリカ統治下の頃です。
その写真は父の宝物らしく、
仏壇の引出しに大切に直してます(笑)

私は祖父の戦争体験の話がきっかけで
幼い頃から歴史に興味があり
沖繩を調べる様になりました。
大学時代に初めて訪沖してからは
ますます大好きになり、歴史の勉強も
ですが文化や芸術も知りたくて
通いつめてました(笑)
今は家族が出来、以前の様には
一人旅出来ませんが年に一度はお邪魔
させて頂いております。

なんだか三代に渡って不思議な縁です。
でもあの美しい島が たった七十二年前
あんな姿であったということ
考えるだけで胸が苦しいです。
二十三日は平和を祈りたいと思います。



祖父の話ですが、沖縄の方の
今尚続くご苦労を考えると
ナイチャーの我が家のお話
なんか申し訳なく感じてしまいます。

祖父、やはり被爆の影響も
あったのか晩年は身体がダルいと
寝転がっている事が多く
私が七歳の時の
六十歳で亡くなりました。

まあ何せ無骨な祖父でしたが
体調のいい時は遊んでくれたり
戦争の話をしてくれました。
その中でポロツと話した

「沖縄には行かれへん」

→ 関西弁でスミマセン。は
幼かった私の記憶に色濃く
残っていて、私も幼いながらに
我が家は沖縄は行かれへんねんなど
思っていました。

→ 子供だったので深い意味では
なく、連れて行ってもらえない
という理解でしたが

祖父達が辿り着いた所で
沖縄の方を救えた訳ではないのも
祖父も解っていたはずですが
やはり沖縄に対する申し訳ない
気持ちと自責の念で行けなかった
んだと思います。

早くに亡くなったので詳細を聞いておけなかったのが今も悔やまれますが、四人いる孫の中で私にだけ戦争の話をしてくれていたようです。

偶然にしても沖繩代表のブラカードを持つことになった父を祖父はどんな気持ちでみていたんだろうなあと思ふと考えてしまいます。

写真、よければどうぞ(笑)
父には内緒ですが!!
創立三年で甲子園出場が決まって、すーごく盛り上がったそうです。
初戦敗退やったけどすごい拍手だったと父が話してました!

私もいつか沖繩の文化や歴史を守るお手伝いをしたいなあといつも思っています。

やまねこ診療所 (注 ツイッターネーム)